

DEUTSCHE HELMUT
BACHSOLISTEN WINSCHERMANN

Christmas Concert



JAPAN●2003

2003年日本公演日程

12月9日(火)6時30分 函館 函館市芸術ホール(ハーモニー五稜郭) program A
 Tuesday, December 9, 2003 at 6:30 p.m. HAKODATE HAKODATE ARTS HALL
 主催: (財) 函館市文化・スポーツ振興財団/北海道新聞函館支社/HBC函館放送局

12月10日(水)7時 札幌 札幌コンサートホールKitara program B
 Wednesday, December 10, 2003 at 7p.m. SAPPORO Sapporo Concert Hall Kitara
 主催: 北海道新聞社/道新スポーツ/オントナ/道新文化事業社/北海道芸協

12月11日(木)6時45分 福岡 福岡シンフォニーホール program C
 Thursday, December 11, 2003 at 6:45p.m. FUKUOKA Fukuoka Symphony Hall
 主催: グリーンコンサート福岡

12月12日(金)7時 防府 アスピラート音楽ホール program A
 Friday, December 12, 2003 at 7p.m. HOFU Aspirante Music Hall
 主催: (財) 防府市文化振興財団/YAB山口朝日放送

12月13日(土)5時 京都 京都コンサートホール program D
 Saturday, December 13, 2003 at 5 p.m. KYOTO Kyoto Concert Hall
 主催: 京都市/京都コンサートホール

12月15日(月)6時 水戸 佐川文庫 program A
 Monday, December 15, 2003 at 6 p.m. MITO Sagawa Bunko
 主催: 佐川文庫

12月16日(火)7時 東京 すみだトリフォニーホール program E
 Tuesday, December 16, 2003 at 7 p.m. TOKYO Sumida Triphony Hall
 主催: 梶本音楽事務所/すみだトリフォニーホール [(財) 墨田区文化振興財団]
 後援: MUSIC BIRD/TOKYO FM

12月17日(水)7時 福井 ハーモニーホールふくい 小ホール program F
 Wednesday, December 17, 2003 at 7 p.m. FUKUI Harmony Hall Fukui
 主催: (財) 福井県文化振興財団

12月18日(木)6時30分 仙台 仙台市民会館 program G
 Thursday, December 18, 2003 at 6:30 p.m. SENDAI Sendai Shimin Kaikan
 主催: 河北新報社

その他の公演

11月30日(日)盛岡市民文化ホール
 12月3日(水)大阪 ザ・シンフォニーホール
 12月5日(金)東京オペラシティ コンサートホール
 12月7日(日)倉敷市民会館

J.S.バッハ: マタイ受難曲BWV244

福音史家/テノール: ニルス・ギーゼッケ テノール: 五郎部俊朗
 イエス/バリトン: 三原剛 バリトン: 小松英典
 ソプラノ: イングリット・シュミットヒューゼン 合唱: 盛岡バッハ・カンタータ・フェライン
 カウンターテナー: マルティン・ヴェルフル

招聘・提供: 梶本音楽事務所
 Presented by Kajimoto Concert Management Co., Ltd.
 後援: ドイツ連邦共和国大使館
 協力: ナミ・レコード

ドイツ・バッハ・ゾリステン

Deutsche Bachsolisten



1962年に来日した折のドイツ・バッハ・ゾリス
テンの演奏は、そのメンバーの豪華さと相まっ
て、いまだ語り草となっている感動的なものだ
った。以来、翌1963年にはクルト・レーデル他
のメンバーで来日、1965年、1970年、1974年
には意欲的な『フーガの技法』をプログラムに加
えてその絶妙な演奏が絶賛を博した。またそ
の間1972年にはエリー・アメリングとのカンタータ
が『管と弦、そして声までが一つの音色感にと
けあい、妙なる調和の世界をつくりあげた』と
評され、常に生き生きとした躍動感に富むバッ
ハの理想的名演を披露してきた。その後、
1976年、1980年、1983年、1985年、1988年、
1991年、1993年、1995年、1998年、2000年と
日本公演が続き、今回が17回目の来日となる。

そのドイツ・バッハ・ゾリステンを組織したのは、
オーボエの世界的名演奏家としても著名なバッ
ハ研究の権威、ヘルムート・ヴィンシャーマンで
ある。1960年、ドイツのウルム郊外のヴィプリ
ンゲン修道院で定期的に開かれたフランクフル
ト・バッハ演奏会の芸術監督も務めていたヴィ
ンシャーマンは、これを母体に、毎年この演奏

会のためにドイツ中から集まってくる第一級の優
秀なバロック音楽の演奏家たちによる文字通り
の“バッハ・ゾリステン（バッハを得意とするソ
リストたち）”を結成した。したがって、メンバー
は必ずしも一定せず、編成も弦主体だったり
2管編成の木管が配されたり、12名から20数名
まで自由に構成されている。しかし、常に指
揮者ヴィンシャーマンの深い研究に基づく正統
的な解釈による格調高い演奏は、メンバーの
変動にもいささかも変わらず、「バッハにもっとも
忠実に、明晰に、生き生きと、喜ばしく」とい
うヴィンシャーマンのモットーどおり、世界中の
人々の心に感動をもたらし、世界のバッハ演奏
の模範となっている。

ここ数回の日本公演では1993年の『マタイ受
難曲』、1995年『ヨハネ受難曲』、1998年の『ロ
短調ミサ』、2000年の『クリスマス・オラトリオ』
と J. S. バッハの四大オラトリオをすべてとりあ
げており、今回の公演では『マタイ受難曲』を
再びとりあげるとともに、クリスマスにふさわしい
プログラムでバロック演奏の真骨頂を披露する。

ヘルムート・ヴィンシャーマン (指揮)

Helmut Winschermann, Conductor

「ドイツからのクリスマス・プレゼント!」 ～ドイツ・バッハゾリステン クリスマス・コンサート2003に向けて～

ドイツ・バッハゾリステンはこのたび日本の皆さまに、ブランデンブルク協奏曲を中心とするいつものプログラムとは違う音楽をお届けできることを大変喜んでおります!

クリスマスはドイツでもっとも重要なお祭りです(日本人にとってのお正月のようなものです)。どの家庭にもツリーが飾られ、教会ではクリスマスの音楽が奏でられます。わたしたちが今年の日本公演に選んだテーマがまさに、「日本の音楽ファンのみなさまにお届けするドイツのクリスマス」。全員がドイツの音楽大学で教鞭

をとり、コンクール入賞者である当団のソリストたちが(例えば、ヴィーペケ・ヴァイダントは2000年ライプツィヒ・バッハ・コンクールの優勝者です)、さまざまな楽器のためのコンチェルトを演奏します。

今回は特別に、ドイツでも大活躍中の日本人コロラトゥーラ・ソプラノ歌手、天羽明恵さんが私たちのコンサートで、ドイツのクリスマスの歌を歌ってくださいます。また、私はバッハのゴルトベルク変奏曲を管楽器・弦楽器とチェンバロの合奏用に私自身が編曲したものから抜粋して演奏しますが、これが世界初演になります。

メリー・クリスマス!



ヘルムート・ヴィンシャーマン

〈プロフィール〉

1920年3月22日、ルール地方ミュールハイムに生まれた。エッセンとパリで学び、ヘッセン(フランクフルト)放送交響楽団、コンセルトヘボウ管弦楽団などのソロ・オーボエ奏者を務めた。その他、数々の室内楽団のリーダーを経て、1960年フランクフルトにおいてドイツ・バッハゾリステンを創立。以来、芸術監督として、今日まで40余年全責任を持ち、この室内楽オーケストラを独特のスタイルを持つアンサンブル、特にバッハ演奏において世界的に権威ある演奏団体に育てあげた。ヴィンシャーマンは、オーボエを手にしても、

指揮棒を握っても、ステージに立つときは常に、「明晰に、生き生きと、喜ばしく」という彼のモットーを貫いてきた。

ドイツ・バッハゾリステンのメンバーは、初めからヴィンシャーマンの芸術と人格を慕って集まってくる、著名なオーケストラの首席奏者や音楽大学の教授である彼の友人たち、およびその優れた弟子たちで構成されている。年配者と若い世代がバランスよく混ざり、メンバーも一定でないために、マンネリ化が避けられ、常にフレッシュな空気がアンサンブルにもたらされている。

また、『フランクフルト・バッハ演奏会』(20年間)、ケルン・バッハ協会の『オーケストラ演奏会』(7年間)などを手掛け、1983年からはリュエデンシャイツ市で、市とドイツ政府の援助のもとに『リュエデンシャイツ・バッハ週間』を主宰している。ドイツ・バッハゾリステンを率いて、あるいは客演指揮者として世界各地での演奏会のほか、地元のボンのベートーヴェンホールやケルンのブリュール城でも定期的にコンサートを開いている。

日本では、1962年以来ドイツ・バッハゾリステンとの来日以外に、客演指揮者としていくつかの日本の合唱団やオーケストラを指揮し、合唱を伴う教会音楽——バッハ『マタイ受難曲』『ヨハネ受難曲』『カンタータ』『クリスマス・オラトリオ』、ヘンデル『メサイヤ』など——でも、友人のクルト・トーマスに学んだ指揮法を駆使して特筆すべき成果を上げている。また、種々の音楽祭や講演で熱心な指導を行っており、日本の若い音楽家が彼から受けた影響は少なくない。

一世を風靡した名オーボエ奏者として知られる一方、ヴァインシャーマンは優れた教育者としても知られ、1956年デトモルト国立音楽大学の教授に就任。オーボエと室内楽のマスタークラスを受け持ち、「歌うオーボエ奏者」と称される彼のクラスには世界各地から学生が集まり、優秀な後継者が輩出した。ハンス・イエルク・シェレンベルガー、宮本文昭、インゴ・ゴリツキ(シュトゥットガルト国立音楽大学)、ゲルノート・シュマールフス(デトモルト国立音楽大学)、リヴィオ・ヴァルコールなど、それぞれのオーケストラの首席オーボエ奏者または大学の教授として活躍している。

『ブランデンブルク協奏曲』『音楽の捧げもの』『フーガの技法』などのバッハのオーケストラ作品の大曲が近年のヴァインシャーマンのプログラムの中心を占めているが、その他に、モーツァルトのピアノ協奏曲、セレナード、バレエ音楽、メンデルスゾーンのパレエ音楽な

ど、意欲的にレパートリーを広げており、特にモーツァルトのレコード録音では、最上の評価を得ている。

また作曲家、ギゼルヘア・クレーベは、ヴァインシャーマンとドイツ・バッハゾリステンのために『ストラヴィンスキーの墓』という曲を書き、献呈している。

近年の公演評は、彼のモダン楽器によるバッハ演奏を高く評価している。日本やヨーロッパの大きなホールでは、モダン楽器を用いた方が聴衆はバッハの音楽をより理解することができるだろう。古楽器はすばらしいが、その魅力的な響きはヨーロッパの城にあるような小さなホールでこそ生かすことができる。ドイツ・バッハゾリステンのメンバーたちは古楽器の演奏にも通じている。ちょうどヴァインシャーマンが10年にわたってバロック・オーボエを演奏したように。

音楽学者でもあるヴァインシャーマンは、多くのバロック音楽の楽譜をジコルスキー社より出版、またレコードはドイツ・グラモフォン、ベーレンライター、フィリップス、RCA、ナミ・レコードなどより50枚以上出している。なお、バッハゾリステン結成以前にバロック・オーボエも演奏した彼は、ドイツで最初のバロック・オーボエによるレコード録音を行っている。近年では、CDでフィリップス、カプリチオ、インターコードなどよりバッハの協奏曲、ヘルマン・プライ、エディタ・グルベローヴァとのカンタータなどがリリースされている。

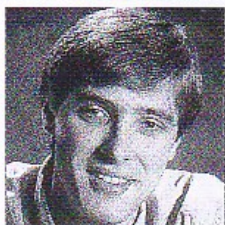
ドイツ政府より最高の一等功労十字勲章、レコードに対して権威あるエディソン賞2回、グスタフ・マーラー賞、1991年度ドイツ・ヘンデル賞など、多くを受賞している。1992年ロンドンで王立音楽アカデミー委員会満場一致にて『名誉会員』の称号を授与された。

1998年1月、ユネスコ本部からの依頼でパリにおいて『平和のためのチャリティー・コンサート』を指揮、絶賛を博した。

ドイツ・バッハザリステン メンバー

ヴァイオリン

Violin



アンドレアス・クレッチャー
(コンサートマスター)
Andreas Krecher
Concertmaster

フライブルクでライナー・クスマウル教授に学び、後にクレッチャースに師事。現在はデュッセルドルフ音楽大学教授。「コンソルティウム・クラシクム」のリーダー。



マーティン・ナゴルニ
Martin Nagorni



ドロテー・ラッグ
Dorothee Ragg



フローリアン・バウマン
Florian Baumann



ルーカス・シュピトラー
Lukas Spittler



エヴァ・ハイニツヒ
Eva Heinig



カタリーナ・フォーゲル
Katharina Vogel



マグダ・ヘルマン
Magda Herrmann

ヴィオラ

Viola



シュテファン・シュミット
Stefan Schmidt



ディートリヒ・シュナイダー
Dietrich Schneider



カイ・バンテルマン
Kai Bantelmann

チェロ

Violoncello



ハルトムート・ベッカー
Hartmut Becker



ヨッヘン・ミュラー＝ブリンケン
Jochen Müller-Brincken



イレネ・ギュデル
Irene Güdel



ヘルマン・ユング
Helman Jung

ファゴット

Bassoon

コントラバス

Contrabass



ヨアヒム・フレック
Joachim Fleck

オルガン/チェンバロ

Organ/Harpsichord



ヴィープケ・ヴァイダンツ
Wiebke Weidanz

オーボエ

Oboe



インゴ・ゴリツキ
Ingo Goritzki

1974年ブレーメンに生まれる。フランクフルトでチェンバロとハンマーフリューゲルをハラルド・ヘーレンに師事。

2000年にライプツィヒ・バッハ・コンクールで優勝を飾ったほか、数々の国際的なコンクールに入賞している。現在はライプツィヒのメンデルスゾーン国立音楽大学およびフランクフルト国立音楽大学で教鞭をとっている。

天羽 明恵 (ソプラノ)

Akie Amou, *Soprano*

超絶的なコロラトゥーラとリリックな声を併せ持ち、内外で高い評価を得ているわが国期待のソプラノ歌手である。

東京都生まれ。東京芸術大学卒業。オペラ研修所第8期生。二期会オペラ・スタジオ第34期修了。1993年文化庁派遣芸術家在外研修員としてシュトゥットガルトに留学。1995年第6回五島記念文化賞オペラ新人賞受賞。副賞としてベルリンで2年間研鑽を積む。同年7月、新人の登竜門として知られるラインスベルク音楽祭でティーレマン指揮『ナクソス島のアリアドネ』のツェルビネッタを歌いセンセーショナルな成功を収め、さらに同年ソニア・ノルウェー女王記念第3回国際音楽コンクールに優勝して、一躍注目を集めることとなった。

その後、ドイツを拠点として、ヨーロッパ各地のオペラハウスや音楽祭に出演。ヘンデル、モーツァルト、ロッシニ、ヴェルディ、R. シュトラウスからリゲティまで幅広いレパートリーで



活躍している。2000年には、モーツァルト『後宮からの逃走』のプロントヒェンを歌ってジュネーヴ大劇場にデビュー、2002～3年にかけては、バレンボイム指揮ベルリン国立歌劇場日本公演『ジークフリート』、ベルリン・コーミッシェ・オーパーで『魔笛』、『گران・マカーブル』、日生劇場で『ルル』等にも出演。1999年紀尾井ホールでの帰国記念リサイタルが絶賛されて以来、日本にも年に数回帰国し、新国立劇場、サントリーホール・ホールオペラへの出演、さらにサヴァリッシュ、ロジェストヴェンスキー、小澤征爾、コンロン等の指揮で国内外のオーケストラと共演するなどめざましい活躍を見せている。

戸田 弥生 (ヴァイオリン)

Yayoi Toda, *Violin*

4歳よりヴァイオリンとピアノを始め、1985年第54回日本音楽コンクール第1位。桐朋学園大学音楽科を首席で卒業し、1992年福井県文化振興事業団より奨学金を得てアムステルダムのスウェーリンク音楽院に留学して研鑽を積む。

1993年、エリーザベト王妃国際音楽コンクールに優勝して一躍注目を集め、以来本格的な活動に入る。その後国内外数多くのオーケストラにソリストとして、小澤征爾、ジャン・フルネ、ガリー・ベルティーニ、マルタ・アルゲリッチらと共演した。

1996年にはニューヨークのジュリアード音楽院より“ディレイ・スカラシップ”を受け、1年間在籍。1997年ニューヨーク・デビューを果たし絶賛を受ける。

2001年、6月には福島国際音楽祭にてJ.S.バッハ無伴奏全曲演奏、11月にはマレーシア・フィルハーモニーとマレーシア、日本、韓国のアジア・ツアー、12月にはピアノのフランク・



Photo: AKIRA MUTO

ブラレイと、2002年4月にはピアノのアプデル・ラハマン・エル＝バシャとリサイタル・ツアーを行ない好評を博した。

これまでに江藤俊哉、ヘルマン・クレバース、シャルル・アンドレ・リナール、ドロシー・ディレイ、他に師事。

音楽之友社よりCD「エネスコ、J.S.バッハ作品集」「J.S.バッハ：無伴奏ヴァイオリン・ソナタ&バルティータ全曲」をリリースしている。

1994年、第4回出光音楽賞を受賞。

使用楽器は、小野グループより貸与された1694年製作のアントニオ・ストラディヴァリ“スギチェリ”。アムステルダム在住。

J.S.バッハ Johann Sebastian Bach (1685-1750)
H.ヴァインシャーマン編曲 Orchestration: H. Winschermann
ゴルトベルク変奏曲 BWV988より
～カール・リヒターの思い出のために～
from "Goldberg Variations" BWV988

Aria Harpsichord	Var. 18 Tutti
Var. 1 Tutti	Var. 20 Vn Vc
Var. 2 Oboe, Oboe d'amore, Bassoon	Var. 21 Oboe d'amore, Vla, Vc
Var. 5 Strings	Var. 25 Vn, Vla Vc
Var. 6 Vn, Vla, Vc	Var. 26 Oboe d'amore,
Var. 9 Oboe, Oboe d'amore	Oboe da caccia, Strings
Oboe da caccia Bassoon	Var. 27 Oboe, Bassoon
Var. 12 Strings	Var. 29 Tutti
Var. 15 Oboe, Oboe d'amore,	Var. 30 Tutti
Oboe da caccia/Vn, Vla Vc	Aria Harpsichord
Var. 16 Tutti	

ヘンデル Georg Friedrich Handel (1685-1759)
オラトリオ「メサイア」HWV56より
from Oratorio "Messiah" BWV56

ピファ(パストラル・シンフォニー)
Pifa (Pastoral Symphony)
アリア「シオンの娘たちよ、大いに喜べ」
Aria "Rejoice greatly, O daughter of Zion"
アリア「疲れし者、重荷を負いし者は」
Aria "Come unto him"
ソプラノ: 天羽 明恵
Soloist: Akie Amou, Soprano

J.S.バッハ Johann Sebastian Bach (1685-1750)
ヴァイオリン協奏曲 ホ長調 BWV1042
Concerto for Violin, Strings and Gb in E major BWV1042

Allegro / Adagio / Allegro assai

ヴァイオリン: 戸田 弥生
Soloist: Yayoi Toda, Violin

—*—*—

アルビノーニ Tomaso Albinoni (1671-1750)
ジャゾット編曲 Arr.: Giazotto
アダージョ短調
Adagio for Strings in G minor

テレマン Georg Philipp Telemann (1681-1767)
組曲ハ長調より 夢
"Semmeille" from Suite in C major

アリア「主イエスよ、私の魂に来てください」
Aria "Jesu, komm in meine Seele"

ソプラノ: 天羽 明恵
Soloist: Akie Amou, Soprano

コレルリ Arcangelo Corelli (1653-1713)
合奏協奏曲 op. 6-8 「クリスマス」より パストラーレ
Pastorale from Concerto grosso op. 6 No. 8 "Christmas Concerto"

J.S.バッハ Johann Sebastian Bach (1685-1750)
管弦楽組曲第3番 BWV1068より「アリア」
Air from Overture No. 3 in D major BWV1068

J.S.バッハ Johann Sebastian Bach (1685-1750)
高き天より BWV769
"Vom Himmel hoch" BWV769

ドイツ民謡 もみの木
O Tannenbaum

グルーバー Franz Xaver Gruber (1787-1863)
きよしこの夜
Silent Night

ソプラノ: 天羽 明恵
Soloist: Akie Amou, Soprano

J.S.バッハ Johann Sebastian Bach (1685-1750)
I. ゴリツキ編曲 Arr.: I. Goritzki
2つのオーボエとファゴットのための協奏曲 ニ長調
Concerto for 2 Oboes, Bassoon and Strings in D major

I. II. カンタータ「されど同じ安息日の夕べに」BWV42より
from Cantata "Am Abend aber desselbigen Sabbats" BWV42-1, 3
III. 「復活祭オラトリオ」BWV249より
from "Oster-Oratorium" BWV249-1

オーボエ: イング・ゴリツキ/ヨッヘン・ミュラー・プリンケン
ファゴット: ヘルマン・ユンゲ
Soloists: Ingo Goritzki, Jochen Müller-Brincken, Oboes
Helman Jung, Bassoon

ヘンデル Georg Friedrich Handel (1685-1759)
オラトリオ「メサイア」HWV56より
from Oratorio "Messiah" HWV56

ピファ(パストラル・シンフォニー)
Pifa (Pastoral Symphony)
アリア「シオンの娘たちよ、大いに喜べ」
Aria "Rejoice greatly, O daughter of Zion"
アリア「疲れし者、重荷を負いし者は」
Aria "Come unto him"

J.S.バッハ Johann Sebastian Bach (1685-1750)
ヴァイオリン協奏曲 イ短調 BWV1041
Concerto for Violin, Strings and Gb in A minor BWV1041
(Allegro) / Andante / Allegro assai

ヴァイオリン: アンドレアス・クレッチャー
Soloist: Andreas Krecher, Violin

—*—*—

J.S.バッハ Johann Sebastian Bach (1685-1750)
H.ヴァインシャーマン編曲 Orchestration: H. Winschermann
ゴルトベルク変奏曲 BWV988より
～カール・リヒターの思い出のために～
from "Goldberg Variations" BWV988

Aria Harpsichord	Var. 18 Tutti
Var. 1 Tutti	Var. 20 Vn Vc
Var. 2 Oboe, Oboe d'amore, Bassoon	Var. 21 Oboe d'amore, Vla, Vc
Var. 5 Strings	Var. 25 Vn, Vla Vc
Var. 6 Vn, Vla, Vc	Var. 26 Oboe d'amore,
Var. 9 Oboe, Oboe d'amore	Oboe da caccia, Strings
Oboe da caccia Bassoon	Var. 27 Oboe, Bassoon
Var. 12 Strings	Var. 29 Tutti
Var. 15 Oboe, Oboe d'amore,	Var. 30 Tutti *
Oboe da caccia/Vn, Vla Vc	Aria Harpsichord
Var. 16 Tutti	

コレルリ Arcangelo Corelli (1653-1713)
合奏協奏曲 op. 6-8 「クリスマス」より パストラーレ
Pastorale from Concerto grosso op. 6 No. 8 "Christmas Concerto"

テレマン Georg Philipp Telemann (1681-1767)
組曲ハ長調より 夢
"Semmeille" from Suite in C major

アリア「主イエスよ、私の魂に来てください」
Aria "Jesu, komm in meine Seele"

ソプラノ: 天羽 明恵
Soloist: Akie Amou, Soprano

J.S.バッハ Johann Sebastian Bach (1685-1750)
管弦楽組曲第3番 BWV1068より「アリア」
Air from Overture No. 3 in D major BWV1068

J.S.バッハ Johann Sebastian Bach (1685-1750)
H.ヴァインシャーマン編曲 Orchestration: H. Winschermann
カンタータ第147番「心と口と行いと生活」BWV147より
コラール「主よ人の望みの喜びよ」
Chorale "Jesus, bleib meine Freude"
from Cantata "Herz und Mund und Tat und Leben" BWV147

J.S.バッハ Johann Sebastian Bach (1685-1750)
高き天より BWV769 "Vom Himmel hoch" BWV769 *
ドイツ民謡 もみの木 O Tannenbaum *
グルーバー Franz Xaver Gruber (1787-1863)
きよしこの夜 Silent Night *

ソプラノ: 天羽 明恵
Soloist: Akie Amou, Soprano

* 特別共演: 盛岡バッハ・カンタータ・フェライン

ゴルトベルク変奏曲について

ヘルムート・ヴィンシャーマン
(訳: ヴィンシャーマン 翠)

今回の日本公演で、私が皆さんにお聴きいただきたい『ゴルトベルク変奏曲』は、バッハ自身もよく自作や、または他の作曲家（アルビーノーニ、マルチェッロ、ヴィヴァルディなど）の曲を編曲しましたが、それに相当するものです。

オリジナルは、二段鍵盤のチェンバロのために作曲されたものですが、私の編曲は種々の楽器を用いたもので、以前行った『フーガの技法』と『音楽の捧げ物』の編曲での経験が生かされています。ここでもオーボエ、ファゴット、弦楽器、チェンバロを用いて、バッハの管弦楽曲やカンタータで耳馴れた響きを再現しようと試みました。

このような多楽器のアンサンブルで演奏すると、それらが織りなすいくつもの音色の変化によって、それぞれのヴァリエーション（変奏曲）のキャラクターの相違を、チェンバロのみで全曲演奏する場合と、（少なくとも）同じくらいよくアピール出来ると考えます。

特に、次にあげる変奏曲（私は“キャラクターヴァリエーション”と呼んでいます）は、いくつかの違った楽器で演奏するのに適しています。

- Var. 1 器楽協奏曲（例えばコンチェルト Grosso）のオープニング
- Var. 2 期待
- Var. 3 パストラーレ（田園風）
- Var. 4 跳躍ダンス
- Var.13 アリア、歌
- Var.15 嘆き、なぞ
- Var.16 フランス序曲風
- Var.19 レントラー舞曲
- Var.21 胸の痛み



- Var.22 陽気なりチェルカーレ
- Var.25 アリア（なげきのアダージョ）
- Var.26 サラバンド
- Var.28 気まぐれな、宙に舞うような
- Var.30 クォドリベット（バッハの家の人の集い。楽しく、はしゃいで）

二つの歌

“お前と本当に長く会ってないよ”

“キャベツとかぶらはもう沢山だよ。
母さんが肉料理をしてくれていたらもっと
長くいたのに”

（この二つの民謡に使われているメロディーが対位的に進行する。）

ゴルトベルク変奏曲は、非常に厳格なリズム構成と、2つの変奏曲の後にいつもカノンが置かれているという点が、他のベートーヴェン、シューマン、ブラームス、レーガー等の変奏曲と異なっています。

私と数々のコンサートを共にしたカール・リヒターは、この曲について次のように語っています。

「ゴルトベルク変奏曲の演奏解釈に対する決定的な答えはないだろう。何故ならバッハの音楽が偉大すぎ、我々演奏家は人間として完璧でないから。」

ドイツと全世界にバッハ演奏家として名を馳せ、早くしてこの世を去った芸術家、カール・リヒターを偲んで――。



KAJIMOTO CONCERT MANAGEMENT CO., LTD.

